

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2010年09月06日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2009000042"/> 整理番号 <input type="text" value="11407"/> 担当者 <input type="text" value="松岡 義人"/>
表 題	<input type="text" value="生体外創傷治癒試験用用具 (In vitro wound healing assay 用デバイス)"/>
技術分野	<input type="text" value="化学・薬品"/> <input type="text" value="食品・バイオ"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
適用製品	<input type="text" value="創傷治癒試験用用具 (Scratch wound 作製用具)"/>
目 的	<input type="text" value="生体外創傷治癒試験 (In vitro wound healing assay) は、創傷治癒に有用な物質のスクリーニングおよび細胞移動の評価等を目的として行われる試験である。その試験のためにフラスコやシャーレに培養した細胞に一定幅の創傷を作製する。"/>
技術概要	<input type="text" value="従来は創傷治癒試験の際、フラスコやシャーレに培養した細胞にピペット用チップの先端等で引っ掻き傷 (scratch wound) をつけ、創傷部分を作製するのが主であった。また現在、創傷治癒アッセイプレートが発売されているが、このプレートは創傷作製部分をインサートで予め塞いでおき、それ以外の領域に細胞を播種し、必要密度まで細胞が増えてからインサートを取り除き、均一な創傷とするものである。しかし、このキットでは細胞層に傷を付ける訳ではないので創傷とは言い難い。本発明は、シャーレ内に培養されている細胞を一定幅で直接掻き取ることができ、容易に均一な創傷を作製できるものである。"/>

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター (NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL: 03-5275-8139 FAX: 03-5275-8328 E-mail: nubic@nihon-u.ac.jp